

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 16 日

Table with columns for 事務事業名, スポーツ推進委員運営事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 総合計画の施策名, 0204 生涯スポーツ活動の振興, 予算科目, 会計, 款, 項, 目, 事業, 細, 一般会計, 単年度繰返し (平成18年度~), 法令根拠, 桜川市スポーツ推進委員規則

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像), ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the sports promotion committee and various activities.

Table with 2 main columns: ①手段 (担当者の活動内容), ②対象 (誰、何を対象にしているのか). Includes sub-columns for ④活動指標 and ⑤対象指標 with data for 29, 30, 01, 02, 03 years.

Table with 2 main columns: (3) 投入量 (事業費) の推移, 期間限定総投入量. Includes sub-columns for 29, 30, 01 years and categories like 国庫支出金, 県支出金, etc.

Table with 2 main columns: 30年度事業費実績 (千円), 01年度事業費予算 (千円). Includes sub-columns for 01, 09, 11, 19 categories and a total row.

Table with 4 columns: (4) 当該年度の実施内容, 01年度の事業内容, 02年度の事業内容, 03年度の事業内容. Includes a list of main activities and a right-pointing arrow.

事務事業名	スポーツ推進委員運営事業	事務事業No.	20403000094	所属課	スポーツ振興課
-------	--------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

旧3町村よりの継続事業。スポーツ基本法(平成23年6月24日法律第78号)の規定に基づき桜川市スポーツ推進委員規則を定め、スポーツの推進のための事業実施に係る連絡調整を図る。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

- ・ふれあいウォークは、これからもずっと続けてほしい。
- ・平成31年開催の国体に向けて、会場の気運を盛り上げ、開催地からの選手の発掘を図ってほしい。
- ・競技性がないほうが参加しやすい。
- ・市内学校施設開放事業について近年、校庭、体育館等の使用方法や学校敷地内での喫煙等の、苦情があるため、見回りを行い、各種団体への助言を行う。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

- ・スポーツ、運動を通じて健康で明るい生活が送れていると感じている人の割合を増やすため、ニュースポーツの導入などスポーツ、運動をするきっかけ作りのための普及活動を継続的に行っていくことが必要である。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	第2次総合計画の中の「生涯スポーツ活動の振興」において、スポーツをする機会の充実として総合型地域スポーツクラブとの連携を政策として掲げているが、スポーツ推進委員とクラブは密接に連携する取り組みがなされている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	スポーツ推進委員を中心に、今後少子高齢化が進む中でのスポーツを推進することを、市が行なうことは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	スポーツ、運動を通じて健康で明るい生活が送れていると感じている人の割合を増やすため、ニュースポーツの導入などスポーツ、運動をするきっかけ作りのための普及活動を継続的に行っていく必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	スポーツ推進委員が桜川市のスポーツ行政の企画立案を行なうことであるので、影響は大きい。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	具体的な手段、事務事業名 総合型地域スポーツクラブ支援事業 総合型地域スポーツクラブと連携を図ることで、より生涯スポーツの推進が図られる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	条例に基づき、スポーツ推進委員の会議、事業への出席には報酬が伴うので、事業費(報酬)の削減は活動の停滞につながる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	特定の個人や集団に利益等が生じないため、受益者負担はなじまない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	・すべての市民が生涯を通して、年齢や体力に応じてスポーツ活動を行う「生涯スポーツ社会」の実現に向けて、事業を実施していく。 ・スポーツ、運動を通じて健康で明るい生活が送れていると感じている人の割合を増やすため、ニュースポーツの導入などスポーツ、運動をするきっかけ作りのための普及啓発活動を継続的に行っていく必要がある。																						
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止																								
(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>						コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下	
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								
スポーツ、運動を通じて健康で明るい生活が送れていると感じている人の割合を増やすため、ニュースポーツの講習会等に参加することによって、そのノウハウを取得し、市民対象に教室を開催するなど、スポーツ、運動をするきっかけ作りのための普及啓発活動を行う。																								
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果		⑧																						
コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>